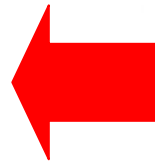


さとう人海が二〇一一年九月（第2回）個人質問で提案した釜石小学校への視察に六十五万円予算がつき、岡山市の中小学校の教頭等5名が行きました。



東日本大震災で児童生徒犠牲なし

教育現場取り組み学ぶ

市内小中教頭ら 岩手・釜石を視察

岡山市内の5小中学校の教頭らが28日、東日本大震災で被災した岩手県釜石市の視察に出発した。現地では「津波でんでんこ」（ばらばらでいいから逃げろ）の教

えを生かした教育現場の取り組みを学ぶため、30日に帰岡する。一行は岡山市教委が防災モデル学区に指定している東区西大寺中、西大寺南小、西大寺小、

豊小、雄神小の各教頭5人と市教委職員1人。JR岡山駅から新幹線で出発した。西大寺中の池上博通教頭は「現地での取り組みを岡山に持ち帰り、教育現場で生かしたい」と



岩手県釜石市の視察に出発する市内小中の教頭ら

話した。この日は釜石市教委や大平中学校（同市大平町）を訪れ、震災当日の避難状況や避難所運営について説明を受けた。滞在中、避難所となった岩手県陸前高田市

の寺院なども訪れる。釜石市の小中学校は津波発生時、児童生徒が高台へ避難して一人も犠牲にならず、「釜石の奇跡」と言われた。（田井香菜子）